

1 CoRE & CDL TIMES

2017. WINTER

発行日：2018年3月9日（季報）

地域価値創造研究教育機構開所式 (2017.10.2)



鳥取大学地域価値創造研究教育機構の開所式を、広報センター内に新たに設置したコミュニティ・デザイン・ラボで開催し、学長をはじめとする大学関係者及び自治体関係者ら約60人が出席しました。

本機構は、地元地域が直面している人口減少や産業空洞化などの解決に役立つ研究開発や人材育成に、地域の様々な方々と一緒になって、全学を挙げて取り組むための中核組織として設置されたものです。

開所式では、豊島学長から、この機構を通じて「地域ニーズに応える研究を進め、地域の課題を解決できる人材を育成して、地域創生の一端を担っていく」ことを力強く宣言されました。

続いて、法橋機構長が「地域の皆さんと協働で進める地域参加型研究と、地域課題の解決策を実践的に学習する地域実践型教育を融合的に推進する」という運営方針に熱意を込めて説明し、関係者一同、希望と決意を新たにしました。

明治大学×鳥取大学×鳥取県連携講座 とり2×めいじさんかくカレッジ～女と男の生き方講座～

－2017.11.18（土）－コミュニティ・デザイン・ラボ

本講座は、「男女がともに担う社会づくり」をテーマに鳥取大学・明治大学・鳥取県が連携し、実施しているものです。

今年度は、明治大学商学部の藤田結子教授を講師に『ワンオペ育児』なぜ父親たちは育児に関われないのか その解決策を考えるの講演を開催し、講演後には、ワークショップを開催、25名が参加しました。

男性の参加もあり、ワークショップでは、鳥取大学教職員がファシリテーターとなり、4つのグループに分かれ、「今日からできる家事、育児参画」をテーマに、学生、子育て中など、それぞれの立場から活発な意見交換が行われました。参加者からは「今日から早速、パートナーに提案してみよう、話をしてみようという気持ちになった」との感想が聞かれ、それぞれが「実践にむけた次の一歩にふみだす」ことを意識するきっかけになりました。



WEB×IoTメイカーズチャレンジ2017 & TORIDAI EDGE × IoT

－2017.11.19（日）－コミュニティ・デザイン・ラボ

全国5ヶ所で開催された、若者を対象としたIoTスキルアップのためのイベントシリーズ「WEB×IoTメイカーズチャレンジ2017」。

12月に行われる、実際に作品を作るこのハッカソンイベント後半に先駆け、11月18日（土）、11月19日（日）の2日間、CHIRIMEN for Raspberry Pi 3を使って、物理デバイス(モノ)をJavaScriptからコントロールする「WebGPIO」や、「I2C」といった低レベルAPIの操作などを学ぶ実践講習会が行われました。講習会では、鳥取大学EDGEの協力で開催される非エンジニア向けのアイデア出しワークショップイベント

「TORIDAI EDGE Talk: 地域課題×IoT」も開催され、ハンズオン講習会で得た知識を活かし、IoTを活用した鳥取の課題解決をテーマにした作品づくりを行い、チーム毎に出来栄を競いました。

－2017.12.9（土）、10（日）－

後半となる12月の回では、Webから物理デバイスの制御を学べるチャンス、地域課題をテーマにしたデバイスづくりの絶好のチャンスとだけあって、学生や一般からの参加者で会場が満員・定員オーバー状態に。「Webを触ったり、ちょっとしたプログラミングならやったことがあ

るけれど、Raspberry Piは触ったことがない・・・」という方、「組み込み開発の知識はあるけれど、Web技術での制御は未経験・・・」といった方などが多く参加され、熱心に取り組む姿が見られました。



「映画による場所論 GEOGRAPHY VIA FILM」



－ 2017.12.4(月)～8(金)、11(月)～15(金) －

鳥取大学地域学部講師 佐々木友輔の映像
個展が約2週間にわたりコミュニティ・デザイ
ン・ラボで開催されました。

「映画による場所論」は映像作家である佐々
木講師が、映画で表現される〈郊外〉のイメ
ジが負の側面に偏りがちなことに疑問を抱き、
同じ映画を活用して、従来型の〈郊外〉像を覆

せないだろうかと考え、始められたプロジェクト。
映画を研究対象として分析する方法でもなけ
れば、場所論や郊外論の研究成果に基づき
映画を制作する方法でもない。ドキュメンタ
リーに近いが、その枠組みにとらわれない手
法で制作されました。実際、来場者も、映像と
して見る方もいれば映画として観る方もおり、
様々な視点で作品を鑑賞されていました。

スクリーン | 土漚青 asphalt / infinite loop 2
モニター | Geography via Film / Okinawa
PC | Geography via Film / Okinawa / The Code

「星」をテーマとした様々な芸術鑑賞

Arsta (アルスタ) ～芸術の星が降る日～

地域学部地域文化学科芸術文化コース2年生が企画運営を行った芸術鑑賞イベントArsta(アルスタ)が、12月20日～22日の3日間にわたり鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボで開催されました。音楽や美術、演劇など各方面から多くの方が関わり、参加されたイベントとなりました。

自主映画
上映会



－ 2017.12.20(水) －

1日目は、鳥取大学映画研究会による自主
映画、「いつか君にふられる日を夢見て」の上
映会が開催されました。

SFを主軸としながら、恋愛や青春の要素が
盛り込まれた約60分のストーリーで、訪れた
学生や教職員など30名ほどの方が映画を楽
しまれました。

合唱＋
演劇



－ 2017.12.21(木) －

宮沢賢治作詞作曲の「星めぐりの歌」を、鳥
取大学混声合唱団フィルコールによる女声合
唱で演奏、他2曲を男女を交えた混声合唱で
演奏されました。

演劇作品「MOGURA」は1匹のモグラを主人
公とした短編の演劇作品で、鳥取大学演劇
サークル所属の演出、役者たちにより上演さ
れました。

音楽＋
朗読



－ 2017.12.22(金) －

星をテーマとした作品を多く残す宮沢賢治。
その作品のひとつ「よだかの星」を、「音の絵
本」と題し、朗読と音楽で楽しみます。

作曲は、鳥取大学名誉教授である新倉健氏。
特別ゲストに近畿や中四国で活動する岡山在
住のチェリスト、須々木竜紀氏を迎え、ピアノ
(森はるい)と朗読(伊藤聡美)、そしてチェロに
よる幻想的な世界を来場者は楽しみました。



常設展として、美術部、写真部、コミックイラスト研究会、
芸術文化センター学生による「星」をテーマにした作品展示もありました。

地域価値創造研究教育機構 CoRE 開設記念シンポジウム

－ 2018年2月9日（金）広報センター －

昨年10月、鳥取大学に開設された地域価値創造研究教育機構の開設記念シンポジウムが2月9日に開かれました。

地(知)の拠点整備事業(COC事業)で先行的に取り込んだ、地域課題解決に資する技術やシステム、人材育成プログラム等を研究・開発・展開する活動が、全学的に推進できる体制となり、文部科学省の支援を受けて行うCOC事業自体は本年度をもって完了することとなりました。

そこでこれまでの学内外で同事業の成果と、地域参加型研究や地域実践型教育の意義に関する認識を共有し、一層強力な推進を図るため、このシンポジウムが開催されました。

開会にあたり鳥取大学の豊島学長、文部科学省 高等教育局大学振興課大学改革推進室長の平野博紀氏が挨拶をされました。

鳥取大学地域価値創造教育研究教育機構 地(知)の拠点大学による地方創生推進室 山内有明特命教授が、「地(知)の拠点整備事業からの飛躍を目指して」と題した講演を行いました。

続いて、信州大学学術研究・産学官連携推進機構 准教授 林靖人氏による、「信州アカデミア構想に基づくユニバーシティ・エンゲージメントの推進」の講演が行われました。

(左上)鳥取大学豊島学長／(右上)文部科学省 平野博紀氏
(左下)鳥取大学CoRE 山内有明特命教授
(右下)信州大学 林靖人准教授



とっとり県民カレッジ連携講座 鳥取大学サイエンス・アカデミー

－ 2018年2月10日（土）鳥取県立図書館 －

本学では地域の課題解決を目指す研究を「地域貢献支援事業」として毎月第2・第4土曜日に実施しています。

この度の講座は「地域住民と一緒に考えて開発した、ため池の防災・減災システム」。講師は、農学部の清水克之准教授。鳥取市内のため池を対象に、地域住民とともに考えて開発された防災・減災システムと取り組みについてご紹介いただきました。



鳥取大学フォークソング部 冬のアコースティックパーティー

鳥取大学フォークソング部による、弾き語り中心のアコースティックライブがコミュニティ・デザイン・ラボで行われ、総勢60名を超える方々が生演奏と歌を楽しみました。全15組のライブで、最後には本年度退職される顧問の佐野先生が出演されました。



ランチタイムコンサート10 ～ランチタイムのひと時、素敵な音楽を。～ 佐々木まゆみ ソプラノコンサート



－ 2月14日(水) －

倉吉市在住の実力派ソプラノ歌手、佐々木まゆみさんによるソプラノコンサートがコミュニティ・デザイン・ラボで行われました。12時20分から12時50分までのランチタイムの短い時間にも関わらず学生や職員、一般の方を含め30名ちかくの方が佐々木まゆみさんの歌声を堪能しました。重道博世さんのピアノとともに、オペラアリアや日本歌曲まで、多彩なジャンルの歌を演奏。素敵なバレンタインデーとなりました。

企画：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 西岡研究室

地域価値創造研究教育推進プログラムの対象取組の公募

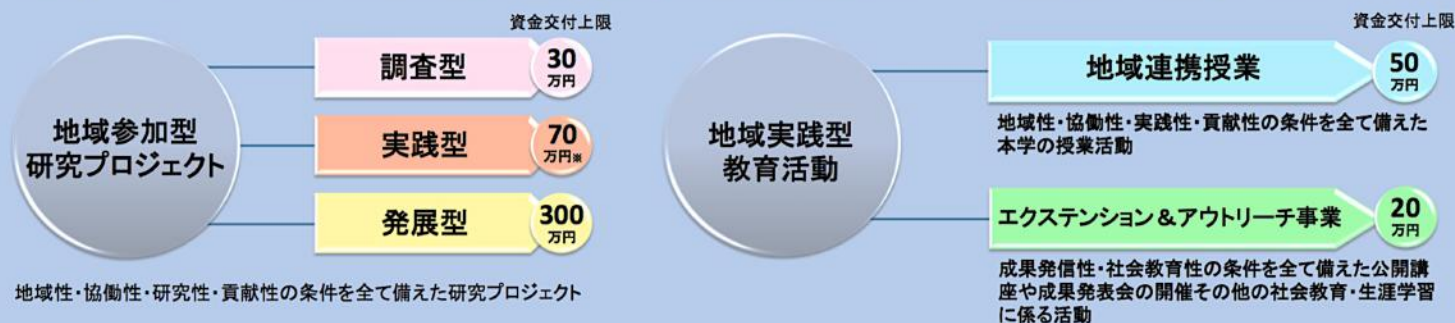
わが国の喫緊の課題である人口減少・過疎化が進む地方の創生に貢献するため、長年の実績をベースに、ニーズのくみ上げと成果の波及力を強化し、地域の当事者と大学(研究者・学生)が協働して課題を見出し研究を進める地域参加型研究を推進しつつ、これらを通して課題発見・解決力を有する人材を育成する地域実践型教育を展開するため、2月9日から3月9日までの間、全学から以下のような取組を公募しました。

地域価値創造研究教育推進プログラム

公募事業

戦略3推進のため従来の地域志向教育研究事業、地域貢献支援事業、大学開放推進事業等を継承再編

本プログラムでは、別に定めるところにより以下に掲げる取組を学内から広く募集・選定し、その選定されたものについて、資金の交付、取組みに関するニーズとシーズのマッチング、効果的展開に必要な交流の場の提案、成果報告会やウェブでの情報発信等の支援を行います。



今後も、こうした公募を続けていきますので、関係者の皆様には、地域参加型・実践型の研究教育活動への積極的な取組をお願いします。

地域価値創造研究教育機構

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地(産学・地域機構棟)
TEL: 0857-31-6777 Mail: koken@adm.tottori-u.ac.jp

地域参加型研究推進室	地域連携PBL推進室	エクステンション推進室	地(知)の拠点大学による地方創生推進室	地(知)の拠点大学による地方創生推進室
地域課題の抽出・整理、解決に向けた研究を推進。	地域に関するPBL形式の教育を開発。	大学としての地域教育、社会人教育等を推進。	地域志向科目の開設、地域人材の定着促進。	地域志向科目の開設、地域人材の定着促進。

コミュニティ・デザイン・ラボ

コミュニティ・デザイン・ラボとは？

地域価値創造研究教育機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

※平成29年10月より平成30年3月末までの鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボは試験運用として運営しています。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐ 広報センター内)
TEL: 0857-31-5870
Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp